

授業科目名 (英訳)		特別研究 I (含国内インターンシップ) Special Research Seminar I				担当者所属 職名・氏名		総合生存学館 関係教員			
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 通年	曜時限		授業形態	演習	使用言語	日本語
<b>〔授業の概要・目的〕</b>											
<p>大学学部などで身につけた学術に関する知識を「聞」の段階とすれば、特別研究 I では「思」の段階の初歩として、自ら選んだ専攻分野における特別研究課題についての研究を行う。さらに専門分野の周辺の学術について、研究指導教員、研究指導委託教員を中心に複数教員の指導と助言のもとで、専門書や研究論文の輪読などを通じて幅広くかつ深い学識を体系的に獲得させるとともに、ディスカッションなどによって自ら考え、それを表現する力をつけさせることで研究基礎力を授ける。約 2 週間にわたる、京都市ならびに京都府の老人福祉施設におけるインターンシップを通じて総合生存学にかかわる世界観の醸成と人間力を身につけさせる。</p>											
<b>〔到達目標〕</b>											
<p>複数の教員との協議を通して最適な特別研究課題を決定した上で、研究とはどういうものかを十分に理解し実施する。年度末に研究成果を A4 用紙 20 枚程度にまとめる。</p>											
<b>〔授業計画と内容〕</b>											
<p>研究指導教員ならびに研究指導委託教員と十分に議論を重ね、特別研究課題を設定し、その課題解決に向けた研究に取り組む。研究の進捗状況について定期的に教員と討議し、得られた研究成果を積極的に学内および学外で発表する。併せて、特別研究 I では、約 2 週間、京都市及び京都府の福祉施設（福祉、介護、養護施設等）で体験実習やボランティア活動などのインターンシップを実施する（授業時間数には算入しない）。実施に当たっては、夏季休業期間を充て、授業科目の履修に影響を与えないように配慮する。具体的には、福祉、介護、養護施設等の 2 施設においてインターンシップ（オリエンテーション、研修、レポート作成及び発表会）を実施する。</p>											
<b>〔履修要件〕</b>											
特になし											
<b>〔成績評価の方法・観点及び達成度〕</b>											
<p>研究に関する口頭発表ならびに論文発表等により特別研究の進捗状況について総合的に評価する。インターンシップについては研修の出席および研修毎の学修記録、さらにレポートと発表会により評価する。</p>											
<b>〔教科書〕</b>											
<b>〔参考書等〕</b>											
<b>〔授業外学習（予習・復習）等〕</b>											
<p>老人福祉施設について事前に情報を収集し、何を学ぶべきかについてレポートを作成する。</p>											
<b>〔その他（オフィスアワー等）〕</b>											